

News Clip

あ く ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 ニッポン全国物産展2015
- P4 青年部・女性部だより
- P6 いいものmekke
飯館村 人気店までいに営業中
中華琥珀
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

「より多くの方々の健康増進のお手伝いをしたい!」(株)べるうっど 代表取締役 鈴木正広さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

「タモギタケ」パワーはこんなに凄い!

美味しさが無限に広がる食材です。 株式会社べるうっど

2015.10.5
Vol.370



美味しく食べて、美しく健康に。



「タモギタケ」パワーはこんなに凄い!

美味しさが無限に広がる食材です。

「株式会社べるうっど」は、大手スーパー勤務時に「タモギタケ」に魅了された鈴木正広氏が脱サラして安達太良の里「大玉村」で平成二十二年、キノコ生産者に転身。

ビタミンEの約七、〇〇〇倍の抗酸化作用があるといわれる成分がギッシリ詰まっている「タモギタケ」の栽培・販売を通して、より多くの方々の健康増進のお手伝いをしたい!

そんな熱い思いが起業への決断を後押ししました。

「タモギタケ」の特徴は?

「タモギタケ」とは黄金色が鮮やかなことから「幸せを呼ぶ黄色いキノコ」として北海道で主に栽培され、親しまれていました。栄養バランスが良く、有効成分を濃縮したエキ스는健康食品としても販売されています。

免疫力を活性化させる「免疫賦活作用」、活性酸素などの害から全身の細胞を守る「抗酸化作用」はタモギタケに多く含まれるβ(1→3)グルカンやアミノ酸の成分によるものと言われています。

美味しく、食感が良く、栄養価が高い「タモギタケ」はヒラタケ科のキノコで鮮やかな黄色が特徴です。東北地方以北で夏場だけ自生し、幻のキノコと呼ばれてきましたが、近年は人工的に栽培されているため、健康志向が進んでいる現代では最も注目され、最も適した食材であります。

どのような調理方法があるのでしょうか?

タモギタケは「出汁キノコ」とも呼ばれるほど濃厚な出汁が出ますので、「炊き込みご飯」や「天ぷら」、「味噌汁」などに多く使われます。

当社では、農林水産省が選定した地産地消の

仕事人「山際博美」シェフとのコラボレーションにより、様々なオリジナルメニューを開発しています。パスタやピザ、ハンバーグなど洋食・和食・中華、どんな料理にも合います。当社ホームページでは、多くのレシピを紹介しており、商品のお申込みもできますので、是非ご覧ください。

地元との商工会との関係は?

起業の際には創業塾へ参加し、専門家からの指導も受けながら計画を進めていきました。

商工会加入当初は、ビジネスマッチング事業や地域の情報の提供などの支援をいただきましたが、今年に入ってから、地元へ進出したレストランとの仲介や商工会青年部との情報交換などへの広がりを見せています。

これからの販売戦略については、どのようにお考えですか?

キノコは、乾燥することによって風味や味が深まり、保存も容易になります。

地域内での乾燥加工については現在検討中ですが、地元での雇用を生むことができるように研究していきたいと考えています。

原子力発電所事故による風評被害によって、「キノコ」と言うだけで買い控えされてきましたが、タモギタケは外気を遮断した施設での栽培方法ですので、全く安全なキノコです。

廃業も頭を過った時もありましたが、大玉村直売所での試食販売や、レストランでの活用によって少しずつ理解をいただき、お客様からの「美味しい!」という声に元気をいただいています。

多くの方に食していただき、深い味わいと風味、食感を堪能していただければ本物であることをご理解いただけると思いますので、今後も着実にPR活動に努めていきます。



企業概要

企業名 株式会社 べるうっど
 代表者名 代表取締役 鈴木 正広
 住所 〒969-1301
 福島県安達郡大玉村大山字仲の在家58
 TEL 0243-48-4492
 FAX 0243-48-4492
 URL <http://www.bellwood-farm.com>
 MAIL info@bellwood-farm.com
 営業時間 9:00~18:00(定休日 土・日・祝)



ニッポン全国物産展2015

～各地から自慢の味と技が集合!～
食のテーマパーク開催決定



「ニッポン全国物産展 in 池袋サンシャインシティ」は、2015年11月20日(金)から22日(日)までの3日間で開催を決定しました。

毎年、全国各地の魅力ある食品、名産品、工芸品を製造・販売している事業者がなんと350以上も集結し、3日間で15万人以上のお客様がご来場されています。今年も全国から多数の魅力的な出展事業者様が出揃いました。さらに大人気の「おやつランキング」が開催される他、フードコートもパワーアップし「おらが自慢のご当地フードコート」として新設されます。

福島県からは、いわき地区商工会広域連携協議会、合資会社旭屋、寿楽園茶舗、有限会社カネダイ、有限会社アール・アルチザン、株式会社コネクションが出展。

開催が今から待ち遠しいという声が多いため、ホームページが開設され人気のグルメ、名産品、工芸品などの出展品やイベント内容、ファンの方限定特典などを適時ご案内して参ります。

今年も「ニッポン全国物産展 in 池袋サンシャインシティ」にふるってご来場ください。



昨年より始まった注目の「おやつランキング2014」グランプリの結果を報告します。締切直前まで大きく順位が変動し興奮冷めやらぬ会場から発表されますので、会場で日本一おいしい「おやつ」を御賞味ください。



👑1位

神奈川県「かりんとうまんじゅう 餡菓桜」

By いづみやさん

👑2位

沖縄県「とろ生マンゴプリン」

By ハッピーフィールドさん

👑3位

秋田県「畠栄のあんごま餅」 By 畠栄さん

最優秀賞に深谷洋平さん(矢祭町) ～青年部トップセミナーの開催～

平成27年6月26日に「平成27年度商工会青年部トップセミナー」を開催しました。

県内6ブロックの代表者がテーマに基づき、青年部活動において常日頃抱いている想いについて発表する主張発表大会福島県大会と「小さな企業の活性化について」をテーマに株式会社佐藤商事 代表取締役社長 佐藤慶太様の講演会が実施され、会場は熱気に包まれました。

主張発表大会では、審査の結果「青年部活動と地域振興・まちづくり～MACHI OKOSI～」と題し発表した、県南地区代表の深谷洋平さん(矢祭町)が栄えある最優秀賞(県知事賞)に輝き、8月26日に北海道札幌市で開催された「平成27年度東北6県・北海道ブロック主張発表大会」に福島県代表として出場しました。また、主張発表者に対する応援として、地区ごとにユニークな応援合戦が行われ、相双地区が優勝地区に選ばれました。

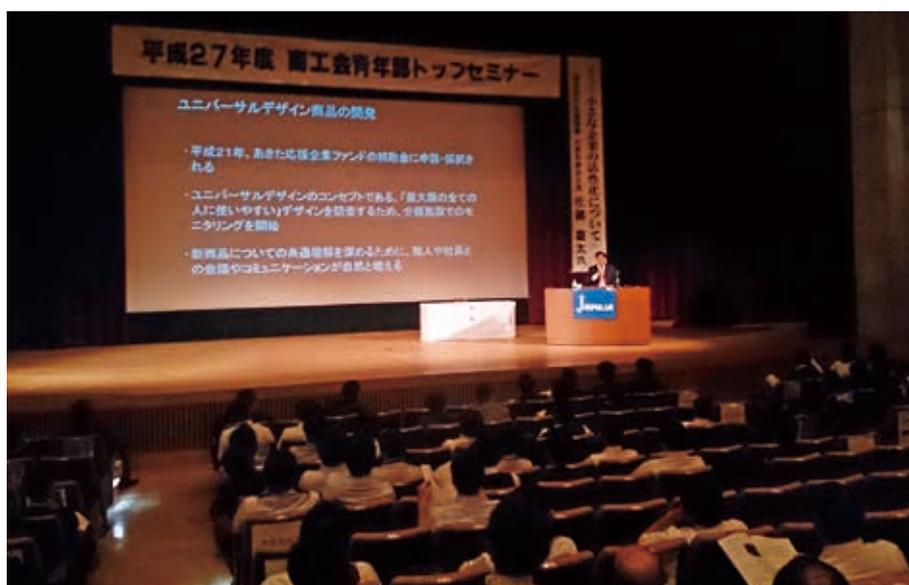
佐藤慶太氏の講演では、自身の経験を基に経営革新の取り組み方・進め方について、ご講話をいただきました。



主張発表応援合戦



最優秀賞の深谷さん



基調講演の様子

「東北・北海道!輝く地域を創ろう!」 東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会 女性部主張発表東北北海道大会in宮城県大会

第15回東北六県・北海道商工会女性部主張発表ブロック大会が平成27年7月16日～17日、宮城県松島町「ホテル松島大観荘」にて開催され、発表者と県女性連役員等を含め26名が参加しました。

大会では、本県から下郷町商工会女性部 副部長の小暮恵美子さんが「女性部活動と地域振興・まちづくり～美と健康・フラダンス～」をテーマに出場されました。町内に「湯野上温泉」や「塔のへつり」そして「大内宿」等歴史的な観光地を保有している我が町が、震災以降、風評被害の影響により年間百万人来場していた観光客がぱったり消えてしまった現状を目の当たりにし、どうか「町を元気にしたい!」「自分たちも元気になる必要がある!」という思いからはじまった“フラダンス”を“町おこし”にうまく結び付け、しなやかで優雅な振り付けをしながら発表をしました。

残念ながら全国大会出場とはなりませんでしたが、女性部らしさも忘れずに、地域の復興を願う気持ちを新たな行動に変え、そして地域住民との交流も大切にしながら活動しているといったすばらしい内容でした。



主張発表者 小暮恵美子(下郷町)



開会の様子



講師 天野晴華氏



発表 柴田町商工会女性部

その他の研修においては、松島町 円通寺 副住職 天野晴華氏による「松島の古刹・円通院に生まれて」～地域を引き継いで行くということ～と題し、コーディネーターが付き、パネルディスカッションが行われました。

翌17日は、宮城県内の観光PRと宮城県女性部員による女性部活動事例発表が行われました。



オープニング すずめ踊り演舞





故郷飯館村へ戻り昭和52年8月「中華琥珀」を
く地元のものを使用し、お店の看板メニューを

東日本大震災 復興応援プロジェクト版

避難先の仮設住宅で営業再開 飯館村の人気店までいかに営業中

を考案したのも、店主の赤石澤さんでした。
が自慢の飯館牛またたくまに人気となりました。
きました。また、食べられる日が来ることを祈り

震災後、突然の避難命令…

避難を余儀なくされ、自分の夢は勿論のこと、仮設へ一緒
に避難した住民のため、新天地で再開を決意。

平成23年11月避難先の仮設住宅地内で営業再開させ
ました。



**中華琥珀いちおしの
「琥珀ラーメン」850円**
ラーメンの上に豚ロースがのっています。

飯館村

中華琥珀

店主 赤石澤 榮さん

仮設店舗

〒960-1246
福島市松川町金沢字地藏田1-1
松川町工業団地内
松川第一仮設住宅敷地内
TEL 024-567-5657

営業時間 11:00~17:00

定休日 月曜日



炒めた野菜のしゃきしゃき感がたまらない
醤油味の「飯館ラーメン」750円も人気です。



突然の避難命令そして営業再開

店も順調にすすんでいる中、あの恐ろしい大震災がやってきました。原発から40キロほど離れた場所にあるこの村にまさかの避難命令。家族とともに避難し、福島市松川町工業団地内にある松川第一仮設住宅に住まいを移しました。敷地内に仮設店舗として飯館村直売所松川店がオープンとなったことを契機に、震災から数か月経たばかりの平成23年11月に直売所の隣に店を再開させました。

店の営業再開は一緒に避難した住民の方々の拠りどころともなりました。再開を聞きつけ仮設以外に避難する地元住民はもちろんのこと、県内外からもたくさんのお客さんが来店してくれました。材料は地元のものを使用できなくなりましたが、メニューは変えずに飯館の味を守り続けました。現在でも、仮設で暮らす住民を始め多くの来店では賑わっています。

店主の赤石澤さんは、本年5月から飯館村商工会の会長に就任。今後の村の商工業存続のことも考えていかなければなりません。平成29年3月飯館村は全村帰村を予定しています。勿論帰村しての再開を考えていますが、従来の店での再開はかなり厳しいと懸念されます。商工会会員のほとんども同じ状況だろうと予測される中、「できるだけ多くの会員が揃って再開できるよう何かを講じなければならない。問題は山積ですが、故郷のために今後も頑張っていきたい」と力強く語ってくれました。



カウンターいっぱいに掲げられた飯館の懐かしい味。



店主の赤石澤さんと奥様の敏子さん

「琥珀」のネームが入ったお揃いのユニフォームで調理するお二人。気合が感じられます。



自分の夢を叶えて…

店主の赤石澤 榮さんは、横浜で修業し、実家のあるオープンさせました。

店は、奥様の敏子さんと二人で切盛り。材料はなるべしいろいろと考案し、地元の人気店となりました。

飯館牛丼発祥のお店

福島県を代表するブランド牛を使用した「飯館牛丼」A5ランクの飯館牛バラ肉をコトコト煮込んだ柔らかさ。今ではその飯館牛もまぼろしのお肉となってしまいました。



定番の「みそラーメン」650円
もやしのしゃきしゃき感がたまらない逸品です。



ズムアツフ。



県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

川俣町商工会

「福島農業の復興と再生を信じて」



株式会社 渡辺機械
代表取締役 渡辺 信一氏

〒960-1403
伊達郡川俣町大綱木字上台5-1
TEL 024-565-2484
FAX 024-565-4688

■沿革

川俣町・二本松市で農業機械の販売・修理や米穀類の集荷業務を行っている株式会社渡辺機械は川俣町で昭和36年に創業、昭和48年に法人化し、その後岩代営業所、飯野営業所、山木屋事業所を開設しました。



■震災

東日本大震災の平成23年3月11日にもかかわらず、翌日からの岩代営業所で展示会の準備に奔走していました。福島県は地震と津波で大変なことになりましたが、当地区は被害も少なく原発事故のことはまったく知らないまま予定通り、3月12日、13日と展示会を開催しましたが来場者も売り上げも少なく散々な結果となったことは言うまでもありません。

その後、東京電力の原発事故により当社の顧客3,600戸の内、大規模経営の多い川俣町山木屋地区、飯舘村、浪江町津島地区の約1,000戸のお得意様が避難を余儀なくされました。当社の社員も2名が退社し避難する道を選びました。私もお客様がいなくて商売を続けられるか一時は廃業も考えましたが、後継者のことや残った社員から「こんな時こそ頑張りたい」と言ってくれたことで事業継続の決断をしました。

■事業再開・商工会の関わり

真っ先に行動したのは、お客様の大部分が掛取引でし

たので当面の運転資金の確保です。福島県の制度資金「ふくしま復興特別資金」を最大限活用何とか資金を確保することができました。年を越した頃より避難したお客様が来店し代金の支払いに来てくれました。久しぶりにお客様と再会し自然と涙がでたことは今でも忘れられません。お客様の家族の状況や避難先を聞き安心したことを覚えています。その後避難したお客様全員が来店してくれたことで今迄の経営方針が間違いではなかったと確信し前向きに事業展開する決意ができました。

商工会からは原発賠償金の請求手続き、商業・サービス業活性化税制の活用、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業復興計画認定、日本政策金融公庫の震災貸付などの支援を頂きました。

これからも、地域農業再開に向けてなくてはならない企業として、今まで培ってきた知識と技術力で農業機械のプロ集団として、農家の皆様と共に地域農業のあり方を考えてまいります。



県中・県南

塙町商工会

「強みを活かした連携で来店者数アップを」



光和堂
代表 石川 敏彦氏

〒963-5405
東白川郡塙町塙字栄町16-3
TEL 0247-43-1022
FAX 0247-43-1204

■「できること」を持ち寄って新しいサービスを

東白川郡塙町、駅前の商店街にある「光和堂」の石川敏彦さんをご紹介します。

先代が昭和45年に創業。以来、ネガフィルム時代のお客様も大切にしながらデジタル化にも対応をした店づくりを行ってきました。また、学校等へ出張しての写真撮影やスポーツ、特に野球に絞った撮影を行い、対象者へインターネットでの販売も行うようになりました。しかし、最近は少子化や、大資本の撮影スタジオが増えたことなどにより来店者数が減少傾向にあり、スタジオでの撮影は全盛期に比べるとかなり減少してしまいました。

そんな中、商工会からの小規模事業者持続



化補助金のチラシを目にして、相談に来て頂きました。今後の事業展開として、スタジオ撮影のターゲットを七五三に絞り、近所の美容室と連携し、今まで別々に予約していた撮影と美容室での着付けやメイクをセットにしたサービスの提供を支援していきます。

補助事業では、そのサービスをPRする看板の作成や写真確認用の大型モニターの設置、衣装の充実などを行いました。個々のサービスをワンストップ化することで相乗効果を期待し、お客様の利便性や満足度を高めることで流出していたお客様を留め、また新たなお客様の獲得にもつなげられるよう支援したいと考えています。

■何でも相談できる商工会

今回利用した小規模事業者持続化補助金は、補助金額こそ大きくないものの、商工会の指導員が親身になって経営を分析、経営計画や補助事業計画づくりの手伝いをしてくれて、自分の店の強みや弱みなど、自分ではなかなか見えない部分を見直すことができました。これからも経営のパートナーとして商工会を頼りにしています。

会津

西会津町商工会

「安らぎと癒やしの空間を大切にしたCafe」



諏訪の森Cafe

代表 阿部 純一氏

〒969-4406
耶麻郡西会津町野沢字祝ノ前甲1402-1
TEL・FAX 0241-45-3713
営業時間/10:00~19:30
(ラストオーダー18:30)
定休日/毎週火曜日

■地元素材を活かしたメニューの提供

今回ご紹介する諏訪の森Cafeさんは今年7月10日にオープン、家族3人が仲よく安らぎと癒しの空間そして地元西会津町の素材を活かした、とっておきの紅茶・コーヒー、ガレット、パスタなどを提供するCafeです。夢の実現のため愛車のロータスヨーロッパSPを泣く泣く手放し自宅の車庫を店舗として改装しました。店主はお米づくりの天才でもあり、西会津産のおいしいお米をメニューに取り入れお客様から大変喜ばれ地元素材を最大限に活用したメニューづくりがお客様に支持されているのです。新たに事業を立ち上げるには相当な気力と労力が必要です。初めて相談を受けたのが初冬でした。熱い意気込みと地元への感謝の心が伝わり、直感で「なんとか実現できるな!」と思いました。設備投資にかかる資金計画は国の創業補助金申請を活用するよう提案しました。また、融資についても現実的な売上・利益計画の作成について伴走型支援をしました。結果、無事採択され、融資について



も速やかな対応で決定しております。これからも安らぎと癒しの空間、地元素材を活かしたメニューを提供する地元根ざしたお店になるよう支援していきます。

■商工会は信頼できる存在

軽井沢のCafeに憧れ、『自分のお店を地元でつくりたい』その思いで創業に取り組みましたが、すべてが初めての体験で戸惑いました。そんな時、商工会の指導員さんに出会い経営全般に関するアドバイスがありました。また、創業補助金の申請についても全面的に支援していただき採択を受けることができました。本当に感謝しております。経営者としては、まだまだ未熟ですが癒しの空間とおいしいメニューを提供していきます。新たに女性のママ友会や親しい女性グループ、また小学生のグループからお年寄りまで静かな所を好む人の層を見つけたような気がします。私にとって商工会はとても頼りになる信頼できる存在です。今後ともよろしく願いいたします。



浜通り

鹿島商工会

「こだわりの味噌を提供します」



若松味噌醤油店

代表 若松 篤実氏

〒979-2335
南相馬市鹿島区鹿島字町181
TEL・FAX 0244-46-2016
営業時間/8:00~18:00
定休日/不定休

■今までの歴史と新たな将来像



この度ご紹介するのは、南相馬市鹿島区で創業150年の味噌屋を営む「若松味噌醤油店」さんです。店構えは歴史を感じさせる造りであり、その中にある味噌蔵で仕込んだ伝統製法の味噌は一級品です。

このお店の特徴は、3つあります。1つ目は、「家族で造る」です。家族ならではの阿吽の呼吸できめ細やかなサービスはもちろん、1つ1つ、材料を吟味し、まごころ込めて質の高い味噌、醤油を作り続けています。2つ目は、「手間を惜みず」です。業界でも当たり前となってきた原料の麴を専門メーカーから仕入れる生産者が多い中で、麴作りから手掛けています。最後に「味噌つき(委託加工)」です。これはお店の独自のサービスであり、米、大豆の持ち込みにも対応したオーダーメイド味噌づくりサービスであります。これら全てにおいてお客様第一、心を込めて作っています。

お店の将来は歴史の後継、味噌作りの後継者でもあり、商工会青年部長でもある真哉さんが積極的な経営を行っており、幅広い人脈と豊富な知識でSNSを活用し、販路開拓拡大を行っています。また、地域の風評払拭のために被災地ボランティアガイドも務め、地域の正確な情報を全国に発信しています。

成長著しく今後も楽しみなお店です。

■頼れる商工会の存在

原発事故後の風評問題を打開するため、悩みに悩んだ末に生み出した新商品「相馬田舎味噌・丹波黒大豆」と相馬野馬追をイメージしたロゴマークは、持続化補助金を活用し完成しました。3月に全線開通した常磐道南相馬鹿島SAの施設「セデッテかしま」オープン時から販売を開始し、売れ行きは好調です。

持続化補助金は、私にとって初めての補助金申請で不安な点ばかりでしたが、経営指導員から親身かつ確かな指導を頂きとても助かりました。困ったときの商工会。商工会は地方創生に欠かせない存在です。



「少子化問題と 商店街活性化の取り組み」 常葉町商工会



常葉町商工会長の渡邊兵吾です。

常葉町は、国道二八八号線が中心商店街を横断する、郡山と大

熊町の中間地点に位置します。常葉町は、十年前に近隣の五町村が合併して田村市となり、合併時の田村市人口は、四万三千八百人でしたが、現在の田村市人口は三万七千三百人と人口減少が続き、なんと十年間で六千五百人もの人口が減少したことになります。常葉町は田村郡の中でも古くから、馬や葉タバコの産地として栄えていました。その頃は町の人口も二万二千人以上を数え、地元商店街も多くの買い物客で賑わい、商工会による大型イベントなども開催され、活気溢れた時代がありました。しかし、少子化による人口減少や商店街の活性の低迷、後継者不足は常葉町も例外ではありません。

何処の商工会も同じ悩みをお持ちかと思いますが、少子化対策、商店街活性化対策、各種イベントや補助金を活用しての六

次化商品開発など、農業、商業、行政が一体となり早急に取り組むべき課題であると考えております。

我が常葉町商工会でも役員、職員が一丸となり、現在計画である婚活イベントの実施、プレミアム商品券による町内での消費拡大、今年三〇周年を迎える恒例イベント、「商工まつりふれあい三日市」の規模拡大などで問題解決の一翼を担ってまいります。

田村市消費喚起

プレミアム商品券発行
（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業）

平成二十七年年度において、田村市内五商工会が共同でプレミアム商品券を発行しました。震災後の風評被害払拭、地元の消費拡大と地域経済の活性化を図ることを目的にプレミアム率を三〇%として、第一弾で、六月～八月限定で使用できる商品券を総額一億四千三百万円。第二弾として、十月～十二月限定で使用できる商品券を第一弾と同額で発行予定としています。この商品券は、田村市内共通で使用できるものと、各商工会地域限定で使用できるものがセットになっていて、田村市内の商工会員のみで利用可能となっています。地域

活性化の一助として商工会でも地域振興策に積極的に活用していきます。

常葉商工まつり「ふれあい三日市」

毎年十一月三日文化の日に合わせて、常葉商工まつり「ふれあい三日市」を開催しています。会員から出店者を募り、日頃から「愛顧いただいている消費者の皆さんへの特価での商品提供サービスや、ミニライブ、青年部、女性部による露店出店など豊富なイベントで楽しんで頂いています。



今年はいよいよ三〇周年となる節目の年であり、現在三〇周年に相応しい様々なイベントを計画中です。是非非常葉商工まつり「ふれあい三日市」へお越しください。役員、職員一同お待ちしております。



ふれあい三日市にカブトン登場

商店街美化事業

桜造花、七夕飾り、紅葉造花、冬季イルミネーションを四季に合わせて、商店街メイン通りを中心に飾り付けを行っています。

季節を感じられるこれらの飾り付けは通行客の目を惹きつけるだけでなく、情緒的な景観は商店街のイメージアップにも貢献しております。通年を通してご覧いただけますが、交通量の多い主要幹線沿いの展示となりますので、お越しの際はくれぐれもお気を付けてご覧ください。



七夕飾り取付けの様子



婚活 (KONDOU)
〜田村で叶える本気の婚活〜

後継者不足や少子高齢化の打開策として、現在主催を田村市広域連携協議会とした婚活イベント「婚活」を商工会にて計画しています。田村市内に少しでも多くの人口が増え定住出来るよう、今までにない様々な斬新なイベントを企画中です。近日中に正式な広報の配布、募集を開始いたしますのでご興味のある方は是非参加についてご協力をお願いいたします。

「からむし織の里」の活性化に向けて

昭和村商工会



昭和村商工会長の渡辺寿です。

昭和村は福島県の西部に位置し、周囲は山に囲まれ、只見川の支流に広がり、国指定天然記念物の駒止湿原や約二八〇種類の植物が群生する矢ノ原湿原のほか、九つの銘水が湧き出ている美しい山村です。また伝統織物の上布の原料となる苧麻(からむし)を栽培している本州唯一の村です。現在は、カスミンウ栽培にも力を入れ、栽培面積は夏秋期において全国一位であり、品質も優れ夏から秋にかけて全国に出荷されています。

昨年は「からむし織りの里織姫交流館」が道の駅からむし織の里しよつわとして開所されたり、天然温泉「しらかば荘」がリニューアルオープンするなど震災後の復興に向けて明るい兆しが見え始めております。

からむし織りの里

昭和村で「からむし」の栽培が始まったのは約六〇〇年前で会津藩主芦名盛政の時代に換金作物とされ、以来、村に暮らす人々の生

活にとけ込み手から手へと受け継がれてきました。明治中期には年間で約六トンの生産がありました。第二次大戦以後、からむし畑は作物畑へと転作されて、化学繊維の普及などもあり栽培・生産は激減していきました。しかし村の伝統技術を守り伝える村民の努力により「織り・生産技術」が福島県指定重要無形文化財に指定、平成三年には「からむし生産・苧引き」が国選定保存技術に認定され国の重要な伝統文化になっております。高齢化が進む中、これらの技術を後世に伝えようと、平成六年からからむし織りに興味のある若者を全国から募集しました。からむしの栽培から織り上げまで、からむし織りの技術を学び現在では昭和村に魅了された「織姫」によって、伝統の技と心が受け継がれており、からむし織りの反物や小物などの商品が販売されています。



「からむし」は「苧麻」とも呼ばれるイラクサ科の多年草植物で上布用の原材料として本州で唯一、昭和村で栽培が続けら

ております。畑で栽培されたからむしの粗皮を取り除いた繊維は青苧と呼ばれ、村の「からむし織り」のほか、越後上布や小千谷縮布の原料に使われております。植物繊維が原料の「からむし織」は化学繊維では真似できない通気性・吸湿性にすぐれ、織り上げられた布は軽く丈夫です。

からむし織りの里商品券と満喫クーポン券発行事業



地域の活性化と村内の消費購買の増加を目的に平成二十年度よりプレミアム付商品券の発行

事業に取り組んでおります。現在も原発事故による風評被害の影響を受けているため、原発事故発生前より商品券発行額や取扱店を増やして地元の消費拡大に取り組みしました。小売業や飲食業、建築業など約四十店舗で利用できることから大変好評を頂いているところであります。また来村客を増やすため宿泊業者を中心に「昭和村満喫クーポン券」事業を行い、村内の宿泊施設や飲食店で利用できるクーポン券を発行しました。村内十三ヶ所دة利用できる宿泊と飲食の割引券、計七、〇〇〇円分を発行し全国から応募があった約一、〇〇〇名の中から抽選で二〇〇名に贈呈しました。今後も村内事業所の商品・

サービスが直接販売に繋がる様々な取り組みを行っていきたいと思います。

お土産品

今年から商工会が村のお土産品の開発に取り組み、特産の「からむし」を使い「からむしまんじゅう」を開発しました。カルシウムやビタミンなどの豊富なミネラル分が含まれているからむしの葉を粉末にし、生地に練り込んで作りあげたものです。また地元の「えごま」の葉・実・油で作ったじゅうねんどレッシングや「えごま油」も好評です。「えごま」には生活習慣病や成人病予防に効果のある「αリノレン酸」が豊富に含まれております。



イベント

村では春、数万株が群生する水芭蕉まつりや山開き、夏のフェア、秋のそばまつり、冬の雪まつりと年間を通じてイベントが行われており、特に夏の「からむし織の里フェア」はからむしの苧引き苧積み織りの実演体験をメインにからむし織りの着物ショーなどが行われ県内外より多くの方に来て頂いております。



消費税転嫁対策窓口相談等事業

教えてあげたい! 消費税価格転嫁の近道

消費税率が8%になり原材料仕入や様々な経費が増えてきており、消費税を価格に上乗せすることは、持続的な経営を行うために必要不可欠であります。そのためには商品やサービスの付加価値を高めることが必要になります。

商工会では、そのような課題を解決するための支援として専門家派遣を実施しています。

プライスカード作成や接客サービス向上、高齢者をターゲットにしたホームページ作成、店舗の雰囲気合ったロゴマークの作成、新事業分野進出など幅広くご利用いただき、経営者の皆様より好評を得ております。

お申込み方法 最寄りの商工会にお申込みください。

三ツサポ
中小企業支援サイト

中小企業庁は、中小企業・小規模事業者の未来をサポートするサイト「ミラサポ」を開設しました。

国や公的機関の支援情報・支援施策を、わかりやすく提供します。
経営の悩みに対する先輩経営者や専門家との情報交換の場を提供します。

ミラサポ 検索

www.mirasapo.jp

福島税務署からのお知らせ

いよいよ、社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)が始まります

社会保障・税番号制度の概要
社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現することを目的として、平成27年10月から、個人番号・法人番号が通知され、平成28年1月から順次利用が開始されます。

個人番号・法人番号について
個人番号は、12桁の番号で、住民票を有する国民全員に1人1つ指定され、市区町村から通知されます。この個人番号は、通知カードにより、市区町村から住民票の住所に簡易書留で送付されますが、個人番号は社会保障・税・災害対策分野の中で法律で定められた行政手続にしか使えません。
法人番号は、13桁の番号で、設立登記法人などの法人等に1法人1つ指定され、国税庁から通知されます。個人番号と異なり、法人番号は、原則として公表され、どなたでも自由に利用できます。

マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

中小企業の皆様、こんな悩みをお持ちではないですか?

アジアで販売したいが
情報不足、模倣品も不安

売上げ好調だったが
類似品登場で売上減

知的財産がどのように
役立つか聞いてみたい

知財で解決できるかも!

相談無料 知財総合支援窓口にご相談ください! 秘密厳守

直通 024-963-0242 所在地 郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F

東北経済産業局特許室委託：特許等取得活用支援事業 実施：一般社団法人福島県発明協会 http://www.fukushima-i.org

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の

商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の補償
「病気」の補償*
「生命」の保障
トータル「がん」補償
シンプル「がん」補償

商工会会員
10万人以上の方に
ご利用いただいています

お申込みはご加入の商工会まで *「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます。

